

主な内容	2面	まちだの給食から始まる子どもたちの未来
	3面	まちだの小中連携
	4面	仲間がいる、興味が広がる、さらに地域へ ～生涯学習で広がる世界～

まちだの教育

2017年
3月21日

No. 99



発行: 町田市教育委員会 編集: 学校教育部 教育総務課 ☎194-8520 町田市森野2-2-22 MACHIDA TEL 042・722・3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

学校と地域が連携して、子どもたちを育てよう

未来を担う子どもたちが、健やかにたくましく育てほしい。

そのためには、子どもたちが充実した学校生活を送るとともに、学校生活以外でも、知恵や経験をもつ地域の大人とたくさん関わり、様々な体験をし、生きる力を育てていくことが大切だと考えています。

教育委員会では、学校と地域の住民が連携して、子どもたちの健やかな育ちのために大切なことを考え、互いに協力して取り組むことができるよう、学校と地域の橋渡し役として、「学校支援ボランティアコーディネーター」と「学校支援地域理事」を、全市立小・中学校に配置しています。これからもより多くの方が、子どもたちの育ちを支えていくことができるよう、環境づくりを進めていきます。

学校支援ボランティアコーディネーター

学校支援ボランティアコーディネーター(VC)は、学校の活動を支援してくれる地域の人材を発掘し、ボランティアの活動の場をコーディネートしています。授業中や放課後の体験学習、校内の清掃活動、部活動の支援など、VCの活躍により、年間17,000人以上のボランティアが各学校を拠点に活動しています。

産業なら味噌作りの工場がありますよ！

この地域の特性を活かした体験授業がしたい。どんな体験ができますか？



VC

VC

教員

ボランティアで地域の工場の方が味噌作りを教えに来てくれました。



児童が、工場で味噌を仕込み、学校で半年寝かせたものを食べました。

さて、みんなで体験した感想は??



お味噌を自分で作れるなんて思わなかった！自分で作ったお味噌は、美味しい！

こんなに近くにプロの人がいて驚いた。初めての体験ができて、楽しかった。



お味噌は、大豆と麴から作るんだね。大豆を使うから、味噌作りに農家の仕事も欠かせないね。



学校支援地域理事

町内会・自治会などの団体やPTAの代表、学識経験者などから学校1校につき5～7人が選任されます。教職員と学校支援地域理事が定期的に協議会を開催し、子どもたちの課題やその改善策について話合っています。また、学校だけで解決できない課題については、それぞれの立場から支援しています。

今年度は、子どもたちが挨拶や言葉遣いがしっかりできるよう重点的に指導してきました。



校長



挨拶は、まず、大人が見本を見せることが大切です。町内会に声をかけて、登下校の見守りの際など、大人の方から子どもたちに積極的に挨拶をし、子どもたちが挨拶しやすい雰囲気を作ります。



理事



理事

言葉遣いは、家庭での影響が大きいかと思うので、保護者にも働きかけたいですね。子どもとのコミュニケーションの取り方や言葉遣いに関することなど、PTAだよりやPTA主催の講演会を利用して各家庭に伝えていきます。

みんなの声

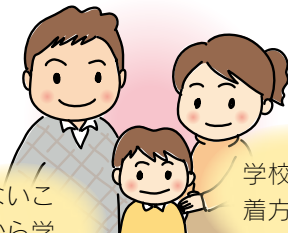
子どもたちの喜ぶ顔を見ることができて、とても嬉しい。(ボランティア)



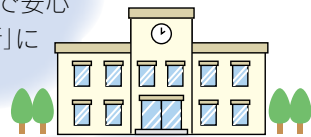
もっと地域の方々から学校に来てもらい、子どもたちのことを知ってもらいたい。(VC)

子どもたちが明るく元気に成長するよう、地域で見守っていきます。(学校支援地域理事)

家庭では教えられないことを、地域の方々から学ばせていただき、嬉しく思っています。(保護者)



地域の方々に見守られ、子どもにとって学校が安全で安心できる「あたたかい場所」になっています。(校長)



子どもたちは、様々な体験的活動を通し、地域の方々から、たくさんのことを学ばせていただいています。(校長)

学校に地域の方が来て、浴衣の着方を教えてもらったよ。自分で着られるようになったから、地域のお祭りに着ていこうかな。(児童)

子どもたちのための活動に興味をおもちの方は、ぜひ下記までお問い合わせください。

- 学校支援ボランティアコーディネーター、ボランティアの活動について…学校支援センター (☎724・4069)
- 学校支援地域理事について…指導課(☎724・2154)、教育総務課(☎724・2173)

学校でのいじめに関するご相談は

● いじめ110番：724・2867

障がいがある児童・生徒の就学・進学に関するご相談は

● 就学相談：793・3057

子どもの教育上の問題に関するご相談は

● 教育相談：792・6546

まちだの給食から始まる子どもたちの未来

食べることは生きるための基本であり、子どもの心と体の健やかな育成に欠かせないものです。町田市では、児童・生徒が食に関する興味・関心と理解を深めるとともに、感謝をもって食を楽しみ、食を通じて人や地域とのつながりをもてるように、小中一貫町田っ子カリキュラム「食育カリキュラム」に基づいて、安心・安全でおいしい学校給食を実施しています。

各学校では、食事作りの楽しさを知るため、素材を触る・自分でお弁当を作るなどの取組みを行ったり、農業の役割を理解し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育むため、給食に地場産の食材を使用したり、世界の食文化を知るため、世界各国の料理を給食に取り入れたり、様々な食育の取組みを行っています。ここでは、その一部をご紹介します。



小学校給食の食育の取組み

お弁当の日!! ~自分で作ってみよう~



いつもより早く起きて、お母さんと一緒にお弁当を作ります。食に対する関心、意欲、感謝の心を育み、自分の食を自ら作ることで実践力を培います。

「食べること」は「生きること」生きる力を育てます!!

6年生のお楽しみ給食

もうすぐ卒業！もう一度食べたいくエスト給食や体験学習を兼ねた給食を実施します。



ふりの解体ショーです。切り身の魚しか知らない児童たちは、丸ごとの食材から調理することで、魚の調理法や旬に関して学びます。



~東京オリンピック・パラリンピックに向けて世界の食文化を知ろう!!~

「東京都オリンピック・パラリンピック教育」の一環として、学校給食では、世界各国の料理を給食に取り入れ、給食を通して世界の食文化を知ってもらい、興味を持ってもらうことを目的とした食育を行っています。

ブルキナファソ

リーグラ
フランス語で“豊かなお米”の意味で、その名の通り臭だくさんの炊き込みご飯

メニュー

・リーグラ ・クスクスのスープ
・豆のコロッケ ・お米のデザート



ブラジル連邦共和国

フェイジョアーダ
豚肉と豆と野菜を煮込んだ料理。本場では黒い豆を使用します。

メニュー

・フェイジョアーダ ・コーヒーゼリー
・野菜のピクルス

中学校給食の食育の取組み

「毎月19日は食育の日献立」が登場します!! 食育の日の献立として、中学校給食でも各国の料理を取り入れており、給食便りでは、その国の食文化を紹介しています。

★2016年9月の食育の日献立★

メキシカンピラフ、チリコンカン

いかのガーリック焼き、カボチャのサラダ、小松菜とコーンのソテー、牛乳



メキシコ合衆国

★2016年10月の食育の日献立★

ガバオライス

ひじきとほうれん草の胡麻和え、大豆とじゃこのはちみつ醤油炒め、春雨サラダ、牛乳



タイ王国

町田市教育委員会に職場体験に来た中学生が中学校給食への感想を聞かせてくれました。



種類が豊富で、毎日食べても飽きません。みんなも是非食べてみて!

小山中学校 Y君

小山中学校 N君

呉沢山で食べ応えあり! 栄養満点で美味しい給食が毎日の楽しみです。



※イラストは職場体験に来た中学生が描いたものです。



◆町田市ホームページから、小中学校給食の食育の取組み・給食の人気メニュー等が閲覧できます。
→子育て・教育▶教育委員会▶学校教育▶学校給食▶小学校給食 または 中学校給食

第8回中学生「東京駅伝」大会 総合第2位!

2月5日(日)、味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて、第8回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。本大会には、23区、26市、1町の50の区市町が参加し、中学校2年生から選抜された選手で結成した各駅伝チームが、優勝を競い合いました。

町田市の代表チーム「チーム町田」は、男子の部で第3位、女子の部で第3位と素晴らしい成績を収め、男女のタイムの合計で総合第2位に輝きました。



男子3km区間の部、第1位のタイム(9分2秒)を記録した、南中学校・石塚陽士選手

町田第三中学校・忠生第三小学校・本町田小学校 中学校生活への期待ふくらむ小中交流



交流1 出前授業を開催しました！

6月30日、町田第三中学校の教員が忠生第三小学校、本町田小学校に出かけて小学校6年生に授業を行いました。一生懸命話を聞き、積極的に授業に参加する6年生の姿に先生たちも感激！「来年が楽しみです！」

忠生三小 佐々木教諭(社会)身近なことから世界とのつながりを考えよう！
石井教諭(理科)音の伝わる仕組みを勉強しよう！
本町田小 太田教諭(家庭科)布の成り立ちを知りワッペンを作ろう！
小川教諭(英語)動物の名前を英語で言ってみよう！
武藤教諭(理科)ミジンコを観察しよう！



ミジンコみえました！ どんなワッペンにしようかな 骨の中が音が伝わってるよ

交流2 中学校説明会部活動体験を実施しました！

9月17日、町田第三中学校で、忠生第三小学校・本町田小学校の6年生に、中学校の生徒会役員が中学校生活についての説明を行い、その後部活動を体験してもらいました。運動部、文化部合わせて14の部活動を体験。例年人気の硬式テニスに加え、今年はオリンピックの影響でしょうか、卓球、バドミントンに希望者が集まりました。

中学生もこの日を楽しみに張り切って後輩たちを迎え、普段の活動の成果を披露したり、優しく教えてあげたり……一生懸命取り組む6年生との心温まるひとときでした。

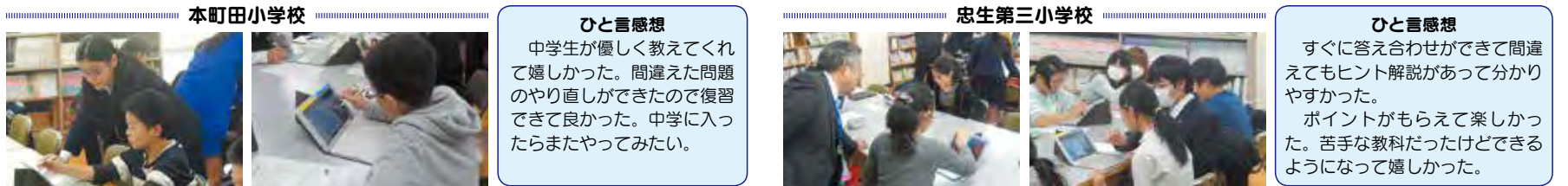


不思議！われにくいシャボン玉 将来の水谷選手現れるか 吹奏楽部は素敵な演奏をプレゼント。本格的な演奏にびっくり！

交流3 皿中未来塾に小学6年生が参加しました！

12月6日 本町田小 12月8日 忠生第三小

希望する生徒が、学習ソフトが入ったタブレット端末を使って放課後に学習する「皿中未来塾」が、10月24日から町田第三中学校でスタート。約60人の生徒が希望する曜日に通っていて「家でやるより格段に勉強が進む」「楽しく覚えられる」と大好評！新聞でも紹介され、ぜひ同じ地区の小学生にも体験してもらおうと12月に忠生第三小学校・本町田小学校の6年生を招き、中学生と同様に「未来塾」を体験してもらいました。



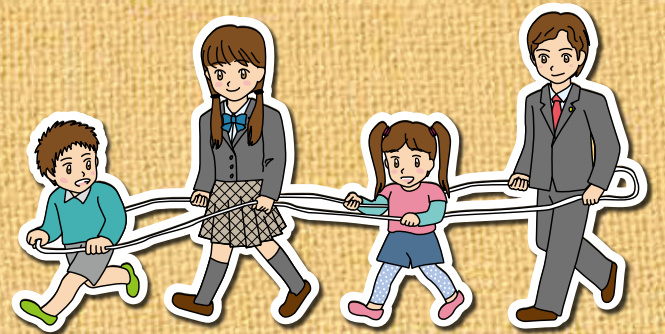
本町田小学校 ひと言感想 中学生が優しく教えてくれて嬉しかった。間違えた問題のやり直しのできたので復習できて良かった。中学に入ったらまたやってみたい。

忠生第三小学校 ひと言感想 すぐに答え合わせができて間違えてもヒント解説があって分かりやすかった。ポイントがもらえて楽しかった。苦手な教科だったけどできるようになって嬉しかった。

「6年生が進んで課題に向かう姿が見られうれしく思いました。中学生の礼儀正しい姿は6年生にとって良い手本となり、中学への心構えをもつきっかけになったことと思います」(小学校副校長先生より)

9年間の育ち支える、学びつなげる まちだの小中連携

市立小・中学校では、小中9年間を見通して、小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行うため、地区ごとに小中が連携した様々な取組を行っています。



金井中学校・金井小学校

ときめきを未来へ ～伝え、体験し合う小中連携～

金井地区は、古くから住んでいる人と新しく移り住んできた人が混在する地域でありながら、町内会を中心に住民間の結びつきが強いことが特徴としてあげられます。祭礼や地域行事では、小学生や中学生の積極的な参加が見られています。小学校・中学校の関係も密接で、連携した様々な取組を行いながら、子どもたちを育てています。

●保育実習交流

金井中学校の家庭科の授業の一環で、金井中学校の3年生と金井小学校の1年生が交流する機会をもちました。一緒に様々な遊びを楽しみ、中学生にとっては、小さな子どもたちとの関わり合い方を学ぶ、小学生にとっては、大人に見えるお兄さん、お姉さんに関わる貴重な時間となりました。



小学生と中学生がペアになり、お互いに自己紹介。

スキンシップの楽しさを味わう。

じゃんけんで勝ったペアが、相手ペアを後ろにくっつけて列を作る「貨物列車」。

様々な遊びを通してふれあい、お互いに笑顔あふれる時間となりました。

●小学校連合運動会

昨年度から、金井小学校と藤の台小学校の高学年の児童が、学校対抗と一緒に運動会を行っています。金井中学校の陸上部員も参加し、模範演技を披露したり、リレーを一緒に行ったりして交流を図っています。



金井中学校陸上部によるハードル走の模範演技。先輩のカッコよさを見せてくれました。

●わくわく部活動体験

毎年9月に、金井小学校、大蔵小学校、藤の台小学校の6年生が金井中学校に行き、生徒会役員による学校説明を聞いた後、部活動の体験をしています。小学生が、先輩たちと楽しく交流しながら、中学校のことを知るよい機会になっています。また、夏休みに開催される金井小学校サマースクールに、金井中学校のバスケットボール部が出向き、部活動紹介を行っています。



スポーツ・部活動での頑張りは、金井の子どもたちの特徴のひとつ。2016年度は金井中学校の5つの運動部が都大会出場を果たしました。また、2016年夏に行われたリオデジャネイロオリンピックには、金井小学校・金井中学校の卒業生である大迫傑選手、関根花観選手が陸上競技に出場。学校でも、横断幕を出して先輩の応援に熱をあげました。

仲間がいる、興味が広がる、さらに地域へ！

～生涯学習で広がる世界～

生涯学習は子どもから高齢者まですべての人が、自分の好きなことや必要なことを生涯にわたって学んでいくことです。「余暇を充実させたい」「日常生活での悩みを解決したい」など、学習を始める動機は人それぞれですが、学びを深めていくなかで、興味や仲間がさらに広がり、地域での様々な活動へつながっていくことがあります。

ここでは、町田市が主催する講座を受けたことをきっかけに、仲間と出会い、活動の幅を広げてきた方々をご紹介します！

まちだ市民大学HATS修了者に聞く「まちだ史考会」の活動

生涯学習センターが開講する「まちだ市民大学HATS」は、市民一人ひとりが地域づくりや文化創造に主体的に参加できるよう実施している講座です。郷土史、福祉、環境などのコースがあり、年間受講者は700人を超えます。これまで、講座修了後に多くの自主学習グループが立ち上がり、現在45団体が活動しています。

「まちだ史考会」会長にお話をうかがいました。

—まちだ史考会について教えてください。

1994年に郷土史講座の修了者有志34名で活動をスタートし、現在会員数は約260名です。主な活動は市内の遺跡や社寺を巡る歴史散歩、文化財調査活動や講演会です。また、ボランティア活動もしています。

—どんなボランティアをされているんですか？

学童保育クラブへ行ったり、子ども向けのイベントに参加をしたりして、昔の遊びを教えています。先日は弓矢を教えるに行きました。弓矢の仕組みを理解し、上手にできるようになると、面白くなっていくようで、子どもたちは繰り返しやっていました。昔遊びを通して歴史に触れることは、



まちだ史考会
森山定雄会長

子どもたちにとってよいことだと思います。

—史考会の活動に参加してよかったことは？

定年後、地元を見直そうと思い、市民大学で郷土史を学びこの会に入会したのですが、より一層町田に愛着がわきました。「一人前の町田市民」になった気持ちです。自分たちの活動が少しでも地域に役立てば、とても嬉しいです。



年5回ほど歴史散歩を行っています。(写真は大蔵山安全寺を訪れた際の様子)



ボランティア活動として、子どもたちへ、お手玉作りや弓矢など昔の遊びを教えています。

語り手養成講座修了者に聞く「おはなし会ボランティア」の活動

図書館では、子どもと本の仲立ちのために、おはなし会を行っています。おはなし会「語り手」養成講座も実施し、修了者が、おはなしの楽しさを伝えるために市内の各図書館で活躍しています。中には、その後グループを結成し、図書館以外にも活動の場を広げている方々があります。

おはなしはすの実



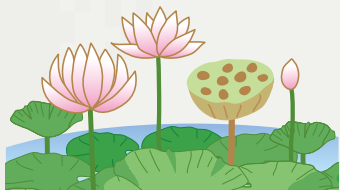
1998年度修了者のグループ「おはなしはすの実」は、老人ホームでもおはなし会を行っています。

—老人ホームでおはなし会を始めたきっかけは？

メンバーの1人が、知り合いの老人ホームの職員から頼まれたのがきっかけで、年に5、6回訪問しています。

—ホームのみなさんの反応はいかがですか？

昔話を語ることが多いのですが、お話を耳から聞くことは楽しいようで、大変喜んでくださいます。訪問すると、皆さん「楽しみにしてたよ!」と言ってくださるので、やりがいがあります。



老人ホームでのおはなし会

おはなし如雨露



「おはなし如雨露」は、子どもクラブの他、4つの保育園でおはなし会を行っています。

—子どもクラブや保育園でおはなし会を始めたきっかけは？

メンバーの知り合いがいた保育園から声がかかり、その縁で活動の場が広がりました。就学前の子どもたちに、たくさんのおはなしに巡りあって欲しいと願い、活動しています。

—おはなし会活動をしていて、嬉しかったことは？

子どもたちがおはなしを、とても楽しんでくれることです。別の場所でのおはなし会を告知すると、そこに来てくれる子どももいて、それも嬉しいです。



子どもクラブでのおはなし会

町田市では市民のみなさんが生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続け、支えあうことができる社会を目指し、生涯学習センターで学習相談を行っているほか、様々な講座や講演会、イベント等を年間を通じて開催しています。

市民のみなさんが参加できる講座やイベント等の情報は、町田市ホームページのほか、市内の公共施設で配布している情報誌「生涯学習NAVI 好き！学び！」に掲載しています。「新しいことを始めたい!」「近くでイベントはないかな?」と思ったら、ぜひご覧ください。

みなさんからのご相談、ご参加をお待ちしています！

問い合わせ

- 市民大学HATS・学習相談について ……生涯学習センター (☎728・0071)
- 語り手養成講座・おはなし会について ……中央図書館 (☎728・8220)

生涯学習センター
キャラクター
マナブとマニャミン



町田市立図書館
マスコットキャラクター
よむぼん



リサイクル適性 (A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報紙は、128,000部作成し、1部あたりの単価は4円です。(職員人件費を含みます。)